

2020年4月10日

新東工業株式会社

PRESS RELEASE

アモルファス金属粉末の量産体制の確立と販売開始のお知らせ

新東工業株式会社(本社:名古屋市、社長:永井 淳)は、アモルファス金属磁性粉末の微粒化及び量産対応を可能としました。

長年培ってきた投射材(ショット)の生産技術の進化により2012年に生産を開始した電子部品の原料となる金属磁性粉末ですが、当社は通信デバイスの小型化、高周波化に対応すべく粉末の微粒化を追求してきた結果、平均粒径2ミクロン粉末の安定供給が可能となり、この度、アモルファス金属粉末「SAP-Dシリーズ」の販売を開始します。

金属磁性粉末はスマートフォンや自動車などの通信機器、制御機器に搭載される電子部品(インダクタ)のコア材料として利用されており、ノイズ低減や周波数調整、電圧の安定化を行う働きがあります。

近年、データの高速処理に対応する5G通信システムや自動車の電子・電動化、自動運転(ADAS)の導入などにより、電子部品には高信頼性、高特性が求められており、原材料となる金属磁性粉末にも小径化、低損失化、耐食絶縁性などの高機能性が要望され、数ミクロンレベルの金属磁性粉末は、5G通信システム導入に向けて急激な需要増が見込まれております。

アモルファス金属粉末「SAP-Dシリーズ」は、微粒子かつエネルギー損失が低い特性があり消費電力の低減や高周波に対応する電子部品、封止材料など幅広く採用が期待されています。

また粒度制御の向上により2ミクロンを下回る微粒子の提供が可能となり、新たな市場ニーズへの対応ができるほか、当社独自のコーティング技術による粉末表面への均質な耐食絶縁被膜(膜厚5ナノメートル)を形成した、凝集のない粉末の供給も実現しました。

リリースに関するお問い合わせ先

新東工業株式会社

コーポレート部(広報担当)

名古屋市中村区名駅 3-28-12

webmaster@sinto.co.jp

Tel 052 582 9211 Fax 052 586 2279